

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		キャリア教育	
科目名	キャリア教育 I	担当教員名	山本 竜太
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	703教室		
授業の内容	<p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p> <p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p> <p>【実務経験】大学卒業後、同大学研究室の助手として2年間勤務。その間、映画監督で脚本家中島貞夫氏に師事し、映画の現場などを経験する。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。	
2	講義	守秘義務を理解し、守れるようになる。	
3	講義	デビューバンク等ビュートツールの作成	
4	講義	舞台用語①	
5	講義	目標シート制作	
6	講義	個人サンプル制作について	
7	講義	スケジュール管理について	
8	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス①	
9	講義	話し方・聞き方講座	
10	講義	PDCAサイクルについて	
11	講義	個人情報の取り扱いについて	
12	講義	デビューマップ制作	
13	講義	コンセンサスを取るためのワークショップ	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題 (100%)	
教材	教科書		
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		キャリア教育		
科目名	キャリア教育Ⅱ	担当教員名	山本 竜太	
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。 【実務経験】大学卒業後、同大学研究室の助手として2年間勤務。その間、映画監督で脚本家の中島貞夫氏に師事し、映画の現場などを経験する。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス②		
2	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス③		
3	講義	舞台用語②		
4	講義	舞台用語③		
5	講義	顧客の考え方		
6	講義	報告・連絡・相談とおひたし		
7	講義	プレゼンツール作成について		
8	講義	社会人基礎力①主体性		
9	講義	社会人基礎力②働きかけ力		
10	講義	社会人基礎力③実行力		
11	講義	社会人基礎力④課題発見力		
12	講義	社会人基礎力⑤計画力		
13	講義	社会人基礎力⑥創造力		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 (100%)		
教材	教科書			
	参考書			

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ICT	
授業名	IT 1	担当教員名	江川 嘉兵
時間数	30	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		教室	601教室
授業の到達目標	エクセル・ワード・パワーポイントの基本的な操作を覚え、データづくりが出来るようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する エクセル・ワード・パワーポイントの基本操作を学ぶ。 【実務経験】大学卒業後、ブレーン株式会社で経営企画部を担当。		
【実務経験】			
回数	授業形態	内容	
1	講義	インターネットガイダンス・Wordの基本画面の説明および文書入力	
2	講義	文書入力や編集および印刷	
3	講義	図形作成を身につける(ワードアート・クリップアート・オートシェイプ)	
4	講義	表作成を身につける	
5	講義	Excelの基本画面の説明およびデータの入力・編集	
6	講義	簡単な関数・表の編集	
7	講義	グラフの作成・編集	
8	講義	関数の使い方・データ形式の表示変更	
9	講義	総復習・試験練習	
10	講義	Word・Excel 試験	
11	講義	パワーポイント基本操作	
12	講義	パワーポイント基本操作	
13	講義	パワーポイント基本操作	
14	講義	パワーポイント基本操作	
15	講義	人工知能やIoTなどITの最前線について紹介する。	定期考査(筆記)
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	Excel2013・2016、Word2013・2016、PowerPoint2013・2016	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ICT	
授業名	IT 2	担当教員名	江川 嘉兵
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	エクセル・ワード・パワーポイントを用い、プレゼンテーションが出来るようになる。		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する            エクセル・ワード・パワーポイントの基本操作と応用を学び、プレゼンツールとして使用できる技術を            総合的に学びます。</p> <p>【実務経験】大学卒業後、ブレーン株式会社で経営企画部を担当。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	講義	ガイダンス する。	2進数、16進数表現を理解する。
2	講義	文字や数字データの内部表現について概略を理解する。	
3	講義	色空間、色域、sRGBについて概略を知る	
4	講義	コンピュータにおける音の表現の概略を知る	
5	講義	自然言語処理について概略を知る	
6	講義	Webページを作成してみる。	
7	講義	情報セキュリティ、サーバー犯罪とその対策について知る。	
8	講義	アプリの開発工程を知る。	OSについて概略を知る。
9	講義	Pythonでプログラミング工程の概略を知る。	
10	講義	表計算における入力支援やセルの書式について理解する。	
11	講義	表計算における相対参照と再計算の意味を理解する。	
12	講義	表計算でのグラフ作成について理解する。	
13	講義	ワープロにおける段落やアウトラインの概念について知る。	
14	講義	プレゼンテーションソフトについて概略を知る。	
15	講義	人工知能やIoTなどITの最前線について紹介する	定期考査(筆記)
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	Excel2013・2016、Word2013・2016、PowerPoint2013・2016	
	参考書		

スーパー e エンターテイメント科シラバス

授業科目		グローバルコミュニケーション (外国語)	
授業名	英会話1	担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標		803	
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。		
【実務経験】			
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
回数	授業形態	内容	
1	講義	挨拶が出来るようになる	
2	講義	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる/もう一度言ってもらえるようお願い出来る	
3	講義	好き嫌いを表現出来るようになる/相手に質問で返すことができるようになる	
4	講義	相手に意見を聞くことが出来るようになる/相手に意見を伝えることができるようになる/誘いに返答することが出来るようになる	
5	講義	相手について褒めることが出来るようになる/褒め言葉に対して返答出来るようになる	
6	講義	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる/日常生活について尋ねることが出来るようになる/日常生活について説明することが出来るようになる	
7	講義	継続して質問することが出来るようになる	
8	講義	場所について質問出来るようになる/ある場所を説明することが出来るようになる/道案内ができるようになる/明確な説明をお願いできるようになる	
9	講義	頻度について質問出来るようになる/頻度を説明することが出来るようになる/値段について質問出来るようになる/値段を説明することが出来るようになる	
10	講義	食べ物について質問が出来るようになる/食べ物を説明出来るようになる/レストランで注文できるようになる	
11	講義	過去のことについて質問ができるようになる	
12	講義	過去のことを説明できるようになる	
13	講義	将来のことについて質問ができるようになる/将来のことを説明できるようになる	
14	講義	復習	
15	講義	定期試験	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%	
教材	教科書	Speak Now1	
	参考書		

スーパー e エンターテイメント科シラバス

授業科目		グローバルコミュニケーション (外国語)	
授業名	英会話2	担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
	日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。		
<b>【実務経験】</b>			
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
回数	授業形態	内容	
1	講義	オリエンテーション	
2	講義	初めて会う人と自己紹介をし合う。	
3	講義	機能表現[紹介][職業質問]を習得し、会話する。	
4	講義	トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。	
5	講義	家の中を案内する場面で会話する。	
6	講義	家族の紹介をする。	
7	講義	名前について、会話をする。	
8	講義	ホテルでチェックインをする。	
9	講義	機能表現[依頼][時間質問]を習得し、会話する。	
10	講義	トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。	
11	講義	ホテルで希望を伝える。	
12	講義	ボディランゲージ (ジェスチャー) を表現する。	
13	講義	総復習	
14	講義	本試験	
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト	
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%	
教材	教科書		
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ミュージックセオリー	
授業名	コンテンポラリーミュージックセオリー 1	担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標			
現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法を学び作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。			
<b>【実務経験】</b>			
国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	音とは・鍵盤・音名・変化記号・五線・音部記号・譜表	
2	演習	音符・休符・拍子・拍子記号	
3	演習	曲の進行に関する記号等・略記法・速さや強さに関する記号・奏法に関する記号	
4	演習	メジャー スケールと全音・半音	
5	演習	マイナー スケール	
6	演習	五度圏・調号・調関係	
7	演習	インターバルの度数と名称	
8	演習	転回・単音程・複音程・協和音程と不協和音程	
9	演習	コードの定義・コード シンボル	
10	演習	トライアードとその転回形	
11	演習	セブンスコードとその転回形	
12	演習	シックスコード・サスフォーコード	
13	演習	ナチュラル テンションとその意味	
14	演習	レビュー	
15	演習	学期末試験	
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、筆記試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ミュージックセオリー	
授業名	コンテンツボラリーミュージックセオリー 2	担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	CMT1で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記の方法について講義、ワークブックを通じて学ぶ。 【実務経験】 国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	メジャー ダイアトニック コード	
2	演習	ダイアトニックコードプログレッション・ケーデンス	
3	演習	ダイアトニック コードのコード スケール	
4	演習	プライマリー ドミナント・セカンダリードミナント	
5	演習	セカンダリー ドミナントのコード スケール	
6	演習	ディセプティブ リゾリューション	
7	演習	ツー ファイブ・リレイティッドツーファイブとそのスケール	
8	演習	ハーモニック リズム	
9	演習	エクステンデッドドミナント	
10	演習	インターポレイティッド コード	
11	演習	ナチュラル マイナー スケールのダイアトニック コードとその機能	
12	演習	ハーモニック マイナー・メロディック マイナーのダイアトニック コード	
13	演習	マイナー ダイアトニック コードのコード スケール	
14	演習	レビュー	
15	演習	学期末試験	
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1、筆記試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		イヤートレーニング	
授業名	イヤートレーニング 1	担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標			
現代において音楽に関わる仕事に就くために必須となるポキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。			
<b>【実務経験】</b>			
国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	フォーフォー、クォーターノート(レスト)	
2	演習	4/4、クォーターノート(レスト)	
3	演習	4/4、クォーターノート(レスト)	
4	演習	4/4、スリーフォー、クォーターノート(レスト)	
5	演習	4/4、3/4、クォーター/8th ノート(レスト)	
6	演習	4/4、3/4、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
7	演習	4/4、3/4、シックスエイト、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
8	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
9	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
10	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
11	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
12	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
13	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
14	演習	エクストラプラクティス、レビュー	
15	演習	学期末試験	
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		イヤートレーニング	
授業名	イヤートレーニング 2	担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標			
演奏や楽曲制作に関わる仕事に就くために必須となるボキャブラリー、記号、表記方法、聴取力を身につけ、作業現場で円滑なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
音楽に関わる仕事現場において日常的に用いられる用語、記号、表記法、聴取力について講義、ワークブックを通じて学ぶ。			
<b>【実務経験】</b>			
国内外でコマーシャルミュージックを専門的に教える専修学校や大学において、パフォーマンスや作曲・編曲を専攻しディプロマ以上の資格を取得した者のうち、本科目を教えることができる能力を認められた者。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	4/4、3/4、6/8、クォーター/8th ノート(レスト)、タイ、符点4分	
2	演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)を加える	
3	演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)を加える	
4	演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加える	
5	演習	4/4、3/4、6/8、16th ノート(レスト)、符点8分を加える	
6	演習	4/4、3/4、6/8、トウエルブエイト、16th ノート(レスト)、符点8分を加える	
7	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符 を加える	
8	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、シャッフル	
9	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符	
10	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符	
11	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連	
12	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、3連符、タイ・符点の絡んだ3連符、2拍3連、3拍4連	
13	演習	4/4、3/4、6/8、12/8、32分音符の紹介	
14	演習	エクストラプラクティス、レビュー	
15	演習	学期末試験	
準備学習 時間外学習	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習を中心とした自主学習。図書室に備えられている参考図書やiPadのアプリ等を利用した自主学習を行う。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%	
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ヒストリーオブミュージック		
科目名	音楽史1		担当教員名	安井献
単位数	30	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	9階スクリーニングルーム
授業の到達目標				
音楽への基礎理解として、年代ごとの音楽の歴史を理解できる。 アーティスト名、楽曲名と年代・時代背景を理解できる。 現代の音楽がどこに影響を受けているかを知ることができる。				
授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する映像を活用しながら講義を実施する。事前学習やレポート提出で理解度を確認する。				
【実務経験】				
サウンドアーティストとして、音楽室フォノテークを運営。CMソング、サウンドロゴなどを手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	講義	現在のミュージックシーンのルーツを辿る		
2	講義	リズム＆ブルースとロックロール（1940年代～1950年代）		
3	講義	サーフ＆ホットロッド（1950年代）		
4	講義	フォークとブリティッシュ・ビート、フォークロック（1960年代前半）		
5	講義	サイケデリックロックとアートロック（1960年代後半）		
6	講義	発展の時代（1960年代～1970年代）		
7	講義	サザンロックとウェストコースト（1970年代）		
8	講義	パンク～ニューウェイヴ（1970年代後半～1980年代後半）		
9	講義	エレクトロニック・ポップとテクノポップ		
10	講義	クラブ・ミュージックの隆盛（1990年代～2000年代）		
11	講義	オルタナティヴ・ミュージックの時代（1990年代～2000年代）		
12	講義	ロック・ミュージックの新たな地平（2000年代）		
13	講義	現在のアーティスト（2010年代）		
14	講義	筆記試験・振り返り		
15	講義	最先端のサウンド、次世代のサウンド		
準備学習 時間外学習		Youtubeなどを活用して復習をしましょう		
成績評価		1. 実技試験（％） 2. 筆記試験（％） 3. 課題（％）	筆記試験	
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ヒストリーオブミュージック	
科目名	音楽史2	担当教員名	安井献
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必須	教室
授業の到達目標	音楽の歴史を通じ、時を重ねてアーティストはどれほど多種多様なジャンルを生み出してきたのか。また音楽はこれまでどのように発展・発達を遂げ、今後どのように変化してゆくのか。これらを考えられるようになることが目標。		
授業の内容	アーティストのヒット曲とそのジャンルを、実例として時代ごとに音源や動画で紹介。合わせてその社会的／文化的背景も交えながら、現在のヒットチャートに直接関係するポピュラーミュージックの歴史を学ぶ。		
<b>【実務経験】</b>			
サウンドアーティストとして、音楽室フォノテークを運営。CMソング、サウンドロゴなどを手掛ける。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	担当教育、自己紹介。音楽史の目標と内容を説明。更に、現在のヒットチャートから、ルーツとなる原点の時代を探る。	
2	講義	1940年代後半～ ○R&BとROCK'N'ROLL *戦後の時代とラジオの普及	
3	講義	1950～1960年代 ○SURF & HOTROD ○IDOL POP ○SOUL MUSIC *オールディーズの時代	
4	講義	1960年代 (1) ○FOLK ○BRITISH BEAT ○FOLK ROCK	
5	講義	1960年代 (2) ○ART ROCK (PSYCHEDELIC ROCK) ○MODS ○GLAM ○PROGRESSIVE ROCK	
6	講義	1970年代 ○A.O.R. ○SOUTHERN ROCK ○HARD ROCK (BLUES ROCK) 1980年代 ○HEAVY METAL 1990年代 ○細分化するメタルシーン ～2000年代	
7	講義	1970年代 ○FUNK (SOUL) ～○DISCO	
8	講義	1970年代半ば～○PUNK (NYとLondon) ○REGGAE/SKA/DUB (ジャマイカの音楽から) ○NEW WAVE ～1980年代	
9	講義	1980年代 ○TECHNO POP ○BLACK CONTEMPORARY *スーパースターの時代 ○HIP HOP 1990年代 ○R&B ～2000年代	
10	講義	1990年代 ○ACID JAZZ ○TRIP HOP ○HOUSE ○TECHNO ～2000年代	
11	講義	1980年代 ○INDIE ROCK (INDIE POP) 1990年代 ○GRUNGY ○MIXTURE ○LOUD ROCK ○HEAVY ROCK ○INDUSTRIAL ～2000年代	
12	講義	1990年代半ば～2000年代半ば ○POST ROCK を中心に。	
13	講義	2000年代後半～2010年代後半 ○現在のアーティスト (1)	
14	座学	2010年代 ○現在のアーティスト (2)	
15	座学	チャリティーの音楽、女性ミュージシャン、など	
準備学習 ☒ 間外学習	できるだけ多くの音楽を聴くことを心がける。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	平常点 (出席率を第一に成績評価付を行う)。 出席日数が足りない者には、課題としてレポートを提出。	
教材	教科書	MUSIC HISTORY ロック&ポップス史 洋楽編	
	参考書		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			ミュージックテクノロジー	
科目名	アレンジ実技1		担当教員名	小林 哲
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標				
楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
<p>様々なジャンルのアレンジスタイル（楽器構成、フレージング）をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ（リズム、ベース、メインのコード楽器）の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける</p> <p>【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング実習		
2	演習	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成/R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング実習		
3	演習	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成		
4	演習	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング実習		
5	演習	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成/R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング実習		
6	演習	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成		
7	演習	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク実習（R&B編を踏まえて）		
8	演習	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング実習		
9	演習	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成/4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング実習		
10	演習	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成		
11	演習	4つ打ちBeat編 3、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
12	演習	4つ打ちBeat編 4、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
13	演習	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク実習（4つ打ちBeat編を踏まえて）		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	<p>様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の 変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。 自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。</p>			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			インストルメンツ	
授業名	トラディショナルハーモニー 1		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	ハーモニーの演習をととして、声部進行のルールの意味を理解し、ハーモニーの技術を習得する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するクラシック音楽の作曲においての基礎の一つ、ハーモニーの理論を学ぶ。			
<b>【実務経験】</b>				
国内外で音楽大学において、作曲を専攻し本科目を教えることができる能力を認められた者。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コース概要の説明。音階、音程など基礎項目の復習・確認。		
2	演習	基礎項目の確認。コードタイプ、ダイアトニックコード、ソプラノ・アルト・テナー・バリトンの音域。		
3	演習	ヴォイスリーディングの法則(メジャーキー)。ルートポジションの3和音、主要和音と非主要和音(1)。		
4	演習	ヴォイスリーディングの法則。ルートポジションの3和音、主要和音と非主要和音(2)。		
5	演習	ヴォイスリーディングの法則。転回形とフィギュアドベース(1)。		
6	演習	ヴォイスリーディングの法則。転回形とフィギュアドベース(2)。		
7	演習	中間テストに向けての準備、練習問題。		
8	演習	中間テスト、及び中間課題の提出。		
9	演習	マイナーキーにおけるヴォイスリーディングの法則。		
10	演習	与えられたメロディーの和声づけ、終止形。		
11	演習	与えられたメロディーの和声づけ、フレーズ、終止形、楽句。		
12	演習	セブンスコード、転回形、ヴォイスリーディング、ノンコードトーン。		
13	演習	ハーモニックテクスチャー、コード進行にメロディーをつける。楽曲の形式。		
14	演習	期末試験と期末課題の準備。		
15	演習	期末試験及び期末課題の提出。		
準備学習 時間外学習	宿題、授業で行う課題を必ず提出し添削を受ける習慣をつける。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			インストルメンツ	
授業名	トラディショナルハーモニー 2		担当教員名	浅沼 毅一
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	ハーモニーの演習をとおして、声部進行のルールの意味を理解し、ハーモニーの技術を習得すると同時に、ポピュラー音楽で用いているハーモニーのアイデアの源泉を体験する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する トラディショナルハーモニー 1 の継続。クラシック音楽の作曲における基礎の一つ、ハーモニーの理論を学ぶ。			
<b>【実務経験】</b> 国内外で音楽大学において、作曲を専攻し本科目を教えることができる能力を認められた者。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コース概要の説明。トラディショナルハーモニー 1の復習。		
2	演習	セカンダリードミナントとその他のノンダイアトニックコード。		
3	演習	転調について。		
4	演習	借用コード。		
5	演習	セブンスコードの復習とテンションコード(9th、11th、13th)。		
6	演習	半音階的なコード: 増6のコードと”ナボリの6度”のコード。		
7	演習	復習、中間テスト、中間課題の準備。		
8	演習	中間テスト、中間課題の提出。		
9	演習	借用コードの概念の拡大と転調の技法。		
10	演習	機能声声外の和声。		
11	演習	楽曲の形式についてさらに学ぶ。		
12	演習	19世紀の音楽の分析。		
13	演習	期末課題の説明と復習。		
14	演習	期末試験と期末課題の準備。		
15	演習	期末試験及び期末課題の提出。		
準備学習 時間外学習	宿題、授業で行う課題を必ず提出し添削を受ける習慣をつける。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	学期末試験を中心に、平常の授業参加度も考慮し総合的に評価する。単位取得に関しては既定の出席率をクリアしていることを前提とする。 1、筆記試験50% 3、課題50%		
教材	教科書	オリジナルテキスト、ワークブック		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ファンデーションVo		担当教員名	奈良木 俊赫
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	EN631
授業の到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>発声の基礎となる低音、声帯のストレッチ、ファルセットのトレーニング方法を伝えると同時に、洋楽の課題曲を与え、コピーを目標に日々練習をしてもらい、発声、歌唱ともに毎授業トレーニング成果をチェックし、プロとして必要な声、歌唱力を身につける。また、授業のはじめに外化（会話）を一人づつ行う。日々の生活の中で感じた事、想っている事を話してもらい、コミュニケーションを取りながら「伝える」という事を学ぶ。</p> <p>【実務経験】2007年にOSMを卒業後、日本を代表するゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして活動中。LA、シカゴ、韓国などの海外ツアーへの参加や、2015、2017に東宝ミュージカル「RENT」へ出演すると同時にカンパニーの歌唱指導を担当。現在は関西ジャニーズJr.のボーカルトレーニングを行なっている。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック		
2	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
3	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
4	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
5	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
6	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
7	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
8	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
9	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
10	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
11	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
12	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
13	演習	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）		
14	演習	（ワークショップ）		
15	演習	（ワークショップ）		
準備学習 時間外学習	授業でおこなった発声練習を、1日30分週4日以上行う 課題曲の練習			
成績評価	1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	1. 出席率（70%） 2. 発表会への参加（30%）		
教材	教科書			
	参考書			

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ヴォイストレーニング		担当教員名	桜田ヒロキ
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	EN531
授業の到達目標				
・声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化（トレーニング・メニューは別途お送りします）・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するハリウッド式ボイストレーニング（V o c a l i z e Uで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行う				
【実務経験】 マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダーのコーチSeth Riggsのトレーニングメソッドの日本人2人目の公認インストラクター。アーティスト担当、ライブ帯同多数。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる		
2	演習	トレーニング・メニュー、声の弱点タイプの理解（別紙参照）		
3	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
4	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、生理学的な声帯の動きを理解する		
5	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
6	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、ビブラートに対する理解・エクササイズ		
7	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
8	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、ボイストレーニングにおける母音の考え方		
9	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
10	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、音階練習・音程の考え方		
11	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
12	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する		
13	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
14	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、semi-occludedエクササイズの音声学的な解説（リップバブル・ストローエクササイズなど）		
15	演習	トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		
準備学習 時間外学習	個人練習と前回の授業振り返り			
成績評価	1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書	Singing for the stars (Seth Riggs), Vocology (Ingo Titze), Singing Success (Brett Manning), Ultimate Voice Training for singers (Billy Purnell)		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ファンデーションGt		担当教員名	浅沼毅一
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		選択	教室	E N 232
授業の到達目標				
簡単なメロディの演奏（単音）が出来るようになること。簡単なコード譜に合わせて適切なスタイルのリズムで伴奏（和音）が出来るようになること。また実際の譜面を通してプロミュージシャンとして必要な最低限の楽譜の知識や理論も身につける。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ギター未経験者、初級レベルの学生を対象に、エクササイズや課題曲を通してギターを弾くために必要な知識やテクニックを段階に応じて学んでいきます。4beat、8beat、16beat rhythmなどの演奏スタイルに特化した課題曲を演奏する事でそれぞれの違いを体感し学びます 【実務経験】大阪スクールオブミュージック卒業後渡米、Berklee音楽大学へ入学。2002年パフォーマンス科を優等で卒業後帰国、各種演奏の仕事に参加。2002年より母校である大阪スクールオブミュージックにて教鞭をとる。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ギターの各部位の名称、仕組み、チューニング、ピックの持ち方、ギターの構え方		
2	演習	ピックで任意の弦を弾く（単音、和音）パワーコード(Root+5th)		
3	演習	コード進行に合わせてコードチェンジ（コードは3つ程度）		
4	演習	右手のストローク・リズム（全音符、二分音符、四分音符、八分音符）		
5	演習	ピッキングヴァリエーション（ダウン、アップ、オルタネイト）		
6	演習	ブリッジミュートなどの右手のテクニック		
7	演習	実際にアンプで音を出してみる		
8	演習	16th note feel		
9	演習	シンコペーション、右手のストローク（空ピッキング、カッティング）		
10	演習	5弦、6弦の音名、ポジションの拡張（12フレットまで）		
11	演習	オープンコード、セーハーコード		
12	演習	課題曲のおさらい		
13	演習	総復習		
14	演習	（ワークショップ）		
15	演習	（ワークショップ）		
準備学習 時間外学習		授業で学んだことを自分なりに整理し明確にする。		
成績評価		1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	授業内評価	
教材	教科書	オリジナルの資料		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	Gtハーモニック		担当教員名	引田 寿徳
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	EN631
<b>授業の到達目標</b> 予習、復習の習慣化。アドリブソロの組み立て。リズムの違いを理解する。 ポピュラー音楽における楽典の基礎をしっかりと身につけ、コミュニケーションツールとして日常的に活用出来るようにする。				
<b>授業の内容</b> ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際にバンドでの活動及び、録音やライブの制作現場において、自身が必要不可欠、または身につけていると生産性が向上すると強く感じるコミュニケーションツールを学習します。基礎音楽理論の学習とリズム譜読解と演習を中心に進めていきます  <b>【実務経験】</b> OSM卒業後、LAに移住。David Lee Roth Bandに加入。Hideous Sun Demonsで全米デビュー。				
日程	授業形態	内容		
1	演習	G型のメジャースケールとその三和音を理解する。		
2	演習	G型のメジャースケールとその三和音を実践する。		
3	演習	C型のメジャースケールとその三和音を理解する。		
4	演習	C型のメジャースケールとその三和音をする		
5	演習	8分音符のリズム譜の実用トレーニング		
6	演習	E型のメジャースケールとその三和音を理解し実践する		
7	演習	A、D型のメジャースケールとその三和音理解し実践する。		
8	演習	4和音の仕組み no.1と16分音符のリズム譜の実用トレーニング		
9	演習	4和音の仕組みno.2		
10	演習	keyと5度圏を理解し活用する		
11	演習	ダイアトニックコードの説明		
12	演習	ダイアトニックコードの実践		
13	演習	平行調、同主調メジャーとマイナーの仕組みを理解する		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	毎回積み重なっていく授業のため必ず復習する。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンス	
科目名	ファンデーションKey		担当教員名	中山 智義
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	E N332
授業の到達目標				
弾き語りの演奏ができる。 弾き語りに必要なコードの展開、多様な音階を理解する。				
授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 全体でのスケール練習。コード演習。ピアノ曲の練習等。				
【実務経験】大阪芸術大学在学中より、佐川満男、増田俊郎等のバックメンバーとして音楽活動を開始。OSM開校当初より、キーボード科講師として後進の育成にあたる。1990年以降には、音楽制作ユニット"Groovers"にて多くのCM、映画、テレビドラマ、ゲーム等の楽曲制作を手掛ける。近年では、「Too young to die!若くして死ぬ」「ナミヤ雑貨店の軌跡」等、映画中での演奏を担当する。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業説明 到達目標について 音名音階の説明		
2	演習	復習 音階の練習(メジャースケール)		
3	演習	スケールの練習 C~B (白鍵) コードの説明メジャー、マイナー		
4	演習	スケールの練習 コードの演習 (トライアド)		
5	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
6	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
7	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
8	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
9	演習	スケールの練習 (any key)		
10	演習	スケールの練習 セブンスコードの説明		
11	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
12	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
13	演習	実技テスト・振り返り		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		自宅、学校等で鍵盤に触れる		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験40% 筆記試験40% 課題20%	
教材	教科書			
	参考書	指定する楽譜等		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	トラックメイク1		担当教員名	横野 康平
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲（課題曲）のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める（不足パートを制作する）。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p style="text-align: right;">【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる		
2	演習	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる		
3	演習	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる		
4	演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる		
5	演習	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる		
6	演習	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えられるようになる		
7	演習	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えられるようになる		
8	演習	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えられるようになる		
9	演習	SEについて学び楽曲を派手に聴かせれるようになる		
10	演習	サンプリングを習得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる		
11	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1（色々なサイドチェイン）		
12	演習	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2（音色のレイヤー&mix）		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	（ワークショップ）		
15	演習	（ワークショップ）		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験（%） 2. 筆記試験（%） 3. 課題（%）	授業態度30% 楽曲クオリティ70%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	トラックメイク2		担当教員名	横野 康平
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	606・501
授業の到達目標	DTMの仕組みと基本的使い方の習得。各自使用しているDAWのヒントにする。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する用意した楽曲（課題曲）のテーマになっている事柄を含むパートを虫食いにして各自講義後穴を埋める（不足パートを制作する）。またその際学校に用意されているサードパーティー音源の使い方もレクチャーする。</p> <p>【実務経験】10年以上現役でJ-pop K-popの作曲編曲活動を行なっている。講師活動は4年以上。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介,Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。		
3	演習	海外研修		
4	演習	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。		
5	演習	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。		
6	演習	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方		
7	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
8	演習	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる		
9	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得1 - Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる		
10	演習	Ableton Live Launch機能の説明と習得2 - Launch Modeを使ってランダムイズだけでフレーズを作ってみる。		
11	演習	Ableton Live内の"wabtable"の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。		
12	演習	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。		
13	演習	1コーラスラフデモ制作テスト		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどを読んでおく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	授業態度30% 楽曲クオリティ70%		
教材	教科書	データ又は動画		
	参考書	データ又は動画		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	マニピュレーション1		担当教員名	西田 和史
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	DAWの扱い方と様々な制作スタイルを身に付け、作品に応じて様々な制作手法を考えられるようになる。ミキシングやシンセサイザーによるサウンド加工の方法を習得し、アレンジや作曲において自身でディレクションやプロデュースを行うための感覚を養う。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>DAWを使用して、様々なスタイルのサウンド、楽曲を制作する。またその為に必要な技術、知識を習得し、応用までを実践する。</p> <p><b>【実務経験】</b> 1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	作曲におけるDAWの活用方を知り、自身の制作イメージを形作る。		
2	演習	DAWにおけるドラムの入力。ビートの理解。音色による楽曲の変化。		
3	演習	メロディーとコードの実践的な入力方法。コードアレンジへのDAWの利用法。		
4	演習	各トラック・楽器の楽曲での役割を考え、音量・定位・ルーティングなどの設定を行う。		
5	演習	楽曲の全体像を作るため、作曲のための楽器演奏シミュレーション。		
6	演習	4リズムでの楽曲制作。実践的なトラックメイキングの流れを理解する。		
7	演習	自作曲のリアレンジ・リミックスを行い様々な変化をコントロールする。		
8	演習	様々な楽器のコンビネーションにおけるグループコントロール。		
9	演習	サウンド変化によるグループコントロール。ダンストラック・ベースミュージックの作成		
10	演習	シンセサイザー・サンプラーの詳細を理解し、自作曲への応用する。		
11	演習	エフェクターによるサウンドクオリティーのアップと表現方法。		
12	演習	音響知識を学び、アレンジ・MIXの実践力に結びつける。		
13	演習	自身の楽曲をこれまでに学んだ観点から分析する。ビート、コード、周波数分布、MIXなど。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	生活の中に作曲、楽曲制作を組み込んでください。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			コンポジション	
科目名	ミキシングⅠ		担当教員名	西田 和史
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	DAWの扱い方と様々な制作スタイルを身に付け、作品に応じて様々な制作手法を考えられるようになる。ミキシングやシンセサイザーによるサウンド加工の方法を習得し、アレンジや作曲において自身でディレクションやプロデュースを行うための感覚を養う。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>DAWを使用して、様々なスタイルのサウンド、楽曲を制作する。またその為に必要な技術、知識を習得し、応用までを実践する。</p> <p>【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてコンピューター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	自己作品を分析。課題の確認と設定。前期の復習など		
2	演習	アナログシンセの使用法。音色制作。シンセベースなど		
3	演習	参考曲の楽器の聞き分け、再現方法の選択、アレンジの確認。		
4	演習	参考曲のフレーズ・音色やミックスの再現		
5	演習	参考曲のフレーズ・音色やミックスの再現		
6	演習	メロディーとベースの主要音からコード進行を確認する。		
7	演習	コード楽器の音色加工をしつつ、バックギンパターンを作る。定番音色やバックギンパターンの確認。		
8	演習	ミックスを考えた、バックギン作成。定番のミックス方法など		
9	演習	自作曲の分析と課題の確認		
10	演習	周波数での音の棲みわけや、音の配置。FM音源やグラニューラシンセなどについて。		
11	演習	ディレイ、フィルター、ダイナミクス、モジュレーション系エフェクターについて		
12	演習	ボーカルミックス、ステム・グループの管理、音量・音圧のコントロール		
13	演習	基本技術の確認と実践的な使用。様々な技術の応用とコンビネーション。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	生活の中に作曲、楽曲制作を組み込んでください。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		コンポジション	
科目名	作詞技法1		担当教員名 木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次 1年次 後期
曜日・時限		必修	教室 601
授業の到達目標			
作詞に関する基礎知識の習得。			
授業の内容			
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
作詞のベーシックを覚える。作詞の制作行程を段階にわけて学ぶ。言葉探しの技を学ぶ。 【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	授業概要／作詞概論	
2	演習	作詞技法.1／作詞基礎、自分言葉の認識	
3	演習	作詞技法.2-1／言葉の連想法／類語の使い方	
4	演習	作詞技法.2-2／字数の変更トレーニング／類語トレーニング	
5	演習	作詞技法.3／字数と1音の使い方	
6	演習	作詞技法.4／ワンワードからの連想による構成の作り方	
7	演習	作詞技法.5-1／5W1Hの法則、起承結の構成	
8	演習	作詞技法.5-2／起承結を使ったワンコーラス作詞制作	
9	演習	作詞技法.5-3／起承結を使ったワンコーラス作詞制作／添削	
10	演習	作詞技法.6／言葉のリズムとブロック／言葉のダイエット	
11	演習	作詞技法.7-1／比喻表現、擬人化	
12	演習	作詞技法.7-2／比喻表現トレーニング／添削	
13	演習	作詞技法.8／タイトルのつけ方	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書	なし	

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			ステージ/イベント	
科目名	PAベーシック1		担当教員名	井出 賢吾
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限			教室	Shooting Stage
授業の到達目標				
PA エンジニアとしての基礎 音響信号の流れを理解し、 各種機材のセッティング、電源の重要性、安全性の確保ができる。 現代PAシステムの理解と興味を持たせる。				
授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する PAエンジニアになるために必要な知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。				
【実務経験】 OSM卒業生。有限会社 津川プロ代表として、イベント・コンサートなどを手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	PA基礎 音とは PAエンジニアとしての心構え/機材について		
2	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング1/機材の名称 in-outまで		
3	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング2/プロのエンジニアの意味		
4	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング3/良い音とは？追求方法について		
5	演習	マイク スタンド スピーカーについて		
6	演習	音の伝送方式を理解する 1 アナログ回路のメリット デメリット		
7	演習	音の伝送方式を理解する 2 デジタル機器へのアプローチ方法		
8	演習	音の伝送方式を理解する 3 デジタルオーディオネットワークとは		
9	演習	デジタルオーディオネットワーク Dante		
10	演習	アルファ systemを知る/アンプリモート プロセッシングなど		
11	演習	アルファ systemを知る/アンプリモート プロセッシングなど		
12	演習	m7clを操作する為に必要な知識など		
13	演習	m7clを操作する為に必要な知識など		
14	演習	実技テストへ向けて		
15	演習	実技テスト・振り返り		
準備学習 時間外学習		「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%。	
教材	教科書	ipad		
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			ステージ/イベント	
科目名	PAベーシック2		担当教員名	井出 賢吾
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	Shooting Stage
授業の到達目標	PA エンジニアとしての基礎 音響信号の流れを理解し,各種機材のセッティング、電源の重要性、安全性の確保ができる。 現代PAシステムの理解と興味を持たせる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する PAエンジニアになるために必要な知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。			
	【実務経験】 OSM卒業生。有限会社 津川プロ代表として、イベント・コンサートなどを手掛ける。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	前期の復習		
2	演習	UPAのAMPの使い方、GEQの切り方		
3	演習	αシステム、デジタル卓		
4	演習	仕込みとやること、RHと本番の違い		
5	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する		
6	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する		
7	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する		
8	演習	デジタル卓のデータづくり		
9	演習	デジタル卓のデータづくり		
10	演習	デジタル卓のデータづくり		
11	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX		
12	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX		
13	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX		
14	演習	PAシステムを使った音響信号の発信①		
15	演習	PAシステムを使った音響信号の発信②		
準備学習 時間外学習	「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%。		
教材	教科書	ipad		
	参考書			

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ステージ/イベント	
科目名	舞台機構1	担当教員名	坂本 充勇
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	舞台に必要な基礎知識並びに安全作業及び職業環境に対する意識向上を身に付ける		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>舞台機構・舞台図面・舞台用語の基礎知識。また公演組織の役割。 さらに現場での作業に必要な初歩の安全衛生について。</p> <p>【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて勤務。舞台監督、美術に従事。 2018年より株式会社ザ・シンフォニーホール ステージマネージャーとして勤務。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	前期授業概要説明・到達目標と目的の説明など	
2	演習	舞台機構 現代の舞台の名称と役割	
3	演習	尺貫法とヤード・ポンド法 / 図面の読み方	
4	演習	舞台機構 古典(能)舞台の名称と役割 (歴史的背景を踏まえて 五行思想など)	
5	演習	舞台機構 古典(能)舞台の名称と役割 (歴史的背景を踏まえて 五行思想など)	
6	演習	舞台用語解説	
7	演習	舞台用語解説	
8	演習	舞台用語解説	
9	演習	舞台用語解説	
10	演習	舞台用語解説	
11	演習	舞台用語解説	
12	演習	安全衛生教育①(舞台に必要な基礎知識の確認)	
13	演習	安全衛生教育②(舞台に必要な基礎知識の確認)	
14	演習	安全衛生教育①(安全作業及び職業環境に対する意識の確認)	
15	演習	安全衛生教育②(安全作業及び職業環境に対する意識の確認)	
準備学習 時間外学習	たくさんの作品を観ましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験50%	出席率50%
教材	教科書	自作編集の冊子	
	参考書	特に無し	

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			ステージ／イベント	
科目名	舞台機構2		担当教員名	坂本 充勇
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	703教室
授業の到達目標	舞台に必要な基礎知識並びに安全作業及び職業環境に対する意識向上を身に付ける			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>舞台機構・舞台図面・舞台用語の基礎知識。また公演組織の役割。 さらに現場での作業に必要な初歩の安全衛生について。</p> <p>【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて勤務。舞台監督、美術に従事。 2018年より株式会社ザ・シンフォニーホール ステージマネージャーとして勤務。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	前期の振り返りと後期の目標		
2	演習	重要無形文化財を知る		
3	演習	重要無形文化財を知る		
4	演習	重要無形文化財を知る		
5	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ①		
6	演習	舞台化の実際を観る		
7	演習	舞台化の実際を観る		
8	演習	舞台化の実際を観る		
9	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ②		
10	演習	舞台化の実際を観る		
11	演習	舞台化の実際を観る		
12	演習	舞台化の実際を観る		
13	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ③		
14	演習	舞台化の実際を観る		
15	演習	舞台化の実際を観る		
準備学習 時間外学習	たくさんの作品を観ましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験50%	出席率50%	
教材	教科書	自作編集の冊子		
	参考書	特に無し		

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		エンジニアリング	
科目名	REC制作1	担当教員名	前川 祐一郎
時間数	120	配当年次	1年次 前期
曜日・時限	選択	教室	903
<b>授業の到達目標</b> 「学んだ基礎知識を活かし、ゆっくりで確実な作業ができるようになる口。」入学して最初の半年ですので、まずは確実な作業ができるようになります。ゆっくりで構いません。使い方・やり方をただ覚えるだけでは、様々なレコーディング内容や環境に対応できません。学んだ基礎知識を一つ一つ理解しながら、何度も繰り返し作業することで身につきます。スピーディーかつスムーズにレコーディングできるようになるには、まずはゆっくりでも確実な作業を心がけましょう。			
<b>授業の内容</b> ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する スタジオの様々な機材は何のために設置されていて、それら機材の一つ一つの機能は何のために備わっているのかを学び、理解して、実際にレコーディングが執り行えるようになります。機材の使い方だけでなく、スタジオで作業する様々な役割の人たちとどのようにコミュニケーションをとってレコーディングが行われているのかも学び、実践できるようになります。 【実務経験】1997年にM-bar Studioにてレコーディングエンジニアとしてキャリアをスタートしました。2000年にフリーランスとして独立し、翌2001年からはプライベートスタジオを中心に様々な音源制作に参加しています。レコーディングスタジオでのレコーディングに限らず、ライブハウスやコンサートホールなどへ機材を持ち込んでのレコーディングもこなしています。生楽器のレコーディングのみならず、作曲編曲アプリケーションで自ら打ち込みも行なっていますので、様々なジャンルの楽曲制作に対応しています。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ははは スタジオの準備と後片付け～電源のON/OFFの順番などスタジオ作業するためのセッティングマナーを知る。	
2	演習	Monitor Sectionのコントロール ～ スピーカーを鳴らすためのセッティングを学ぶ エンジニアを指す者としてのサウンドの聞き方を知る。	
3	演習	音源の起ち上げ(Mic Input)～Micをミキサーに起ち上げするために必要な様々な音響基礎知識を学ぶ	
4	演習	音源の起ち上げ(Line Input) ～ Mic以外の機材をミキサーに起ち上げために必要な様々な音響基礎知識を学ぶ	
5	演習	音源の起ち上げ(INST Input) ～ E.GtやE.Bassをミキサーに起ち上げために必要な様々な音響基礎知識を学ぶ	
6	演習	DAWシステムについて(Pro Toolsの基本) ～ Pro Toolsの基本について学ぶ	
7	演習	DAWシステムについて(Bus OutputとDirect Output) ～ スタジオにおけるミキサーとレコーダーの回線システムについて学ぶ	
8	演習	Digital AudioとAnalog Audio ～ デジタルオーディオについて学ぶ レコーディング時に気をつけなければならない事項を知る。	
9	演習	Micについて ～ Micの基礎知識を学ぶ	
10	演習	CUEシステムについて～CUEシステムについて学ぶ レコーディングがどのように進められるのかを知る。	
11	演習	ミキサーの基本(AUX) ～ AUX機能について学ぶ エフェクターを使えるようになる。	
12	演習	ミキサーの基本(INSERT) ～ INSERT機能について学ぶ エフェクターを使えるようになる。	
13	演習	レコーディング実習 ～ ミュージシャンを迎え、これまでに学んだ知識を活かして実際にレコーディングを 実践する。	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
<b>準備学習 時間外学習</b>		これまでに「聞」いてきた様々な楽曲を「聴」き直してください。これから出会う楽曲は「聴」きましょう。 どんな楽曲にどんな楽器が使われていて、そのサウンドで自分がどんな気持ちになるのか、他のリスナーはどんな気持ちになるだろうか？と考えながら聴いてください。歌詞を読み、作詞家・作曲者はその楽曲で何を表現したいのか？アレンジャー・プレイヤーは作詞家・作曲者の表現したいものをどのように表現しているのか？それらをエンジニアはどのようにレコーディングし、ミキシングしたのか？様々なことを想像して聴いてください。意味のない音は鳴っていません。正解は分からないかも知れませんが、そうやって音を聴いて考えることが、いつか自分がエンジニアとして制作に携わるときの下敷きになります。 スタジオの様々な機材を使って、自分がどんなサウンドを奏でたいのかを養って行きましょう。	
<b>成績評価</b>		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	授業内での実習に関わる姿勢(60%)と、課題の提出(40%)で評価します。 1. 実技試験 0% 2. 筆記試験 0% 3. 課題 40%
<b>教材</b>	教科書	なし	
	参考書	なし	



## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			エンジニアリング	
科目名	Pro Tools 1		担当教員名	福岡 直子
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	501
授業の到達目標	Pro Toolsの基本操作の習得、コンピューターの基礎知識の習得			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音楽制作における「DAW」。そのシステムで使用されるアプリケーションの一つである「Pro Tools」を中心に、付随する周辺機器、関連アプリケーション、コンピューターの知識、ファイル管理の基礎を習得。</p> <p>【実務経験】2000年大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、VISTA STUDIOに2年勤務、2002年からアルケミースタジオに所属。サウンドエンジニアとして様々なアーティストのレコーディング、ミックス、マスタリングを手掛ける。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	DAW(Pro Tools、コンピューター、周辺機器)とは？、実習室の信号の流れについて学ぶ。		
2	演習	Pro Toolsのファイル(セッション)を作成、保存。必要な各種設定を学ぶ。		
3	演習	Pro Toolsのファイル(セッション)を開く。「ミックス」画面構成を学ぶ。		
4	演習	「編集」画面 編集モード、編集ツール、スマートツール、編集コマンド。音声データ編集実践		
5	演習	音声ファイル形式(応用)。セッションの保存(応用)を学ぶ。		
6	演習	遅延(レイテンシー)について(AD/DA、遅延補正)。DAWでの「録音」について学ぶ。		
7	演習	「ミックス」画面トラック構成、「編集」画面 オフラインオートメーションを学ぶ。		
8	演習	プラグイン、エクスポートの種類(オーディオ、MIDI)、バウンスを学ぶ。		
9	演習	課題のレコーディング、ミックス		
10	演習	課題のレコーディング、ミックス		
11	演習	課題のレコーディング、ミックス		
12	演習	課題提出		
13	演習	前期総復習		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	毎回授業内容を復習して、次の授業に反映させる習慣を身につけましょう			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3)課題 100%		
教材	教科書			
	参考書	音響設備マニュアルなど		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		音楽ビジネス	
科目名	マネジメント基礎1	担当教員名	深川 靖代
単位数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	706教室
授業の到達目標	音楽業界で仕事をする上で必要な知識をつける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する レコード会社について／CDが出来上がるまで／ライブ制作会社について／音楽出版社の役割について／プロダクションについて／媒体の役割について <b>【実務経験】</b> OSM卒業生。プロダクション業務(マネジメント、CD制作等)、レコード会社セールス・プロモーター、コンサートプロモーター		
回数	授業形態	内容	
1	演習	この授業について／自己紹介でセルフプロモーション	
2	演習	業界にはどんな仕事があるのか／レコード会社編①レコード会社の役割とは？CDの売上内訳	
3	演習	源泉とは？／レコード会社編②アーティスト印税・原盤権とは	
4	演習	電卓の使い方／レコード会社編③CDが出来上がるまで（流通）	
5	演習	レコード会社編④CDが出来上がるまで（制作）	
6	演習	レコード会社編⑤レコード会社名とその主な所属アーティストを挙げる	
7	演習	レコード会社編⑥レコード会社名とその主な所属アーティストを挙げる	
8	演習	オリコンチャートの見方／レコード会社編⑦テスト	
9	演習	レコード会社編⑧テスト答え合わせ	
10	演習	レコード会社編⑨テスト答え合わせ	
11	演習	イベンター編①日本・関西を代表する音楽フェスティバルを挙げよう	
12	演習	イベンター編②イベンターとは？ライブ制作とは？どんな会社があるのか	
13	演習	イベンター編③フェスティバルごとの特徴・主催を知る	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	オリコン週間チャートからランクインしているアーティストのプロダクション・レコード会社・推定消化枚数を把握しておく。自身の好きなアーティストに関わる会社(プロダクション・レコード会社・イベンター・制作会社)を把握しておく。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験、課題への取り組み	
教材	教科書		
	参考書	オリジナルコンフィデンス、日本レコード協会統計	

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			音楽ビジネス	
科目名	マネジメント基礎2		担当教員名	深川 靖代
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	706教室
授業の到達目標	音楽業界で仕事をする上で必要な知識をつける。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する レコード会社について／CDが出来上がるまで／ライブ制作会社について／音楽出版社の役割について／プロ ダクションについて／媒体の役割について</p> <p>【実務経験】 OSM卒業生。プロダクション業務(マネジメント、CD制作等)、レコード会社セールス・プロモーター、コン サートプロモーター</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント編④振り返り～テスト		
2	演習	イベント編⑤テスト答え合わせ		
3	演習	イベント編⑥自分の理想のフェスを作ってみよう！		
4	演習	プロダクション編①プロダクションとは？どんな会社があるのか		
5	演習	物販商品の原価・利益計算／プロダクション編②どんな会社があるのか		
6	演習	プロダクション編③テスト		
7	演習	プロダクション編④テスト答え合わせ		
8	演習	音楽出版社編①音楽出版社の役割とは？JASRACとの関係		
9	演習	音楽出版社編②音楽出版社名を挙げる・その特徴		
10	演習	音楽出版社編③音楽出版社名を挙げる・その特徴		
11	演習	媒体の役割とは・関西と全国		
12	演習	応用編：自分がこのアーティストを担当するならどんな売り方・宣伝・ライブを計画するか		
13	演習	音楽業界基礎テスト		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	オリコン週間チャートからランクインしているアーティストのプロダクション・レコード会社・推定消化枚数を把握しておく。 自身の好きなアーティストに関わる会社(プロダクション・レコード会社・イベント・制作会社)を把握しておく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験、課題への取り組み		
教材	教科書			
	参考書	オリジナルコンフィデンス、日本レコード協会統計		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			音楽ビジネス	
科目名	コミュニケーションベーシック1	担当教員名	北林 圭	
時間数	60	必修・選択	配当年次 1年次 後期	
曜日・時限		選択	教室	801教室
授業の到達目標				
<p>コースの垣根を越えて分け隔てなく繋がりを形成し、新たな環境に自分が置かれた時の対処法・コミュニケーション能力を培う。 前期終盤には後期へ向けて、自分自身の前期の振り返りと、後期の目標をクラス全員の前で発表できるようになる。</p>				
授業の内容				
<p>体感型ワークと自己を見つめる（自己受容）プリントワークを使用。  1対1での会話、1対多数での会話・主張を实践。人前で自分の考えや想いを伝える練習。  授業を通して、自分や周りのクラスメイトの新たな魅力を発見する。  ※学生の状況などで、予告なく授業内容を変更する場合がございます。</p> <p><b>【実務経験】</b> 産業カウンセラー4年、委託でOSMで3年間授業を担当。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション/ファーストコミュニケーション実習・総当たりインタビュー		
2	演習	他者紹介・短時間でクラスメイトについて知る		
3	演習	傾聴 ・ 話の聞き方で印象の受け方・与え方を感じる （メラビアンの法則）		
4	演習	目標設定・短期から長期の目標を掲げ、何が必要かを認識する		
5	演習	捉え方 ・ 自分の事柄の考え方、捉え方の傾向を知る		
6	演習	チームビルディング ・ ゲームを通じてチームの役割、機能を学ぶ		
7	演習	目標設定・短期から長期の目標を掲げ、何が必要かを認識する		
8	演習	リ・フレーミング・見方、とらえ方が変わるとどうなるか体験する		
9	演習	ファイナンシャルリテラシー・社会人が必要なお金の価値観、知識を学ぶ		
10	演習	私の大切なもの ・ 自身が大切にしている秘めたる価値観に触れる		
11	演習	ミニプレゼンテーション1 テーマ：前期から後期へ向けて		
12	演習	ミニプレゼンテーション2 テーマ；前期から後期へ向けて		
13	試験	前期の振り返りのプリント記入		
14	試験	ワークショップ		
15	試験	ワークショップ		
準備学習 時間外学習				
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 実技 80% 2. 筆記 10% 3. 課題 10%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ESL	
授業名	ESL I	担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。			
【実務経験】			
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
回数	授業形態	内容	
1	講義	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。	
2	講義	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。	
3	講義	L. 5 & 6 好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。	
4	講義	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。	
5	講義	L. 11 & 12 人を褒める&褒められた際の会話表現。(衣服など) 着ているものに関して述べる事が出来る。	
6	講義	L. 7, 13, & 14 時間について表現する。日々の習慣について話す&質問できる。	
7	講義	L. 19 & 20 道案内をする・場所を尋ねることが出来る。	
8	講義	L. 21 & 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。	
9	講義	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーが出来るようになる。	
10	講義	L. 29 & 30 過去の出来事について話す&質問できる。	
11	講義	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答が出来るようになる。	
12	講義	L. 32 週末や未来の予定について話す事が出来る。	
13	講義	総復習	
14	講義	本試験	
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%	
教材	教科書	Speak Now1	
	参考書		

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			ESL	
授業名	ESL II		担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。				
【実務経験】				
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり				
回数	授業形態	内容		
1	講義	オリエンテーション		
2	講義	・初めて会う人と自己紹介をし合う。		
3	講義	・機能表現[紹介][職業質問]を習得し、会話する。		
4	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
5	講義	・家の中を案内する場面で会話する。		
6	講義	・家族の紹介をする。		
7	講義	・名前について、会話をする。		
8	講義	・ホテルでチェックインをする。		
9	講義	・機能表現[依頼][時間質問]を習得し、会話する。		
10	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
11	講義	・ホテルで希望を伝える。		
12	講義	・ボディランゲージ（ジェスチャー）を表現する。		
13	講義	総復習		
14	講義	本試験		
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			パフォーマンスプロジェクト	
科目名	バンドアンサンブル1		担当教員名	津原順一
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修選択	教室	EN431
授業の到達目標				
<p>1：ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する                  2：学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力 の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3：それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4：外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5：全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る</p>				
<p><b>授業の内容</b> ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する                  アナライズ授業において、各課題曲を用い音楽的な時代背景、ジャンルやボーカリストの特徴、テクニックやポイントなどを講義、演習により学習。アンサンブル授業にて、各パートとの即興バンドにて実践を行う。</p> <p><b>【実務経験】</b> 93年結成GERAL DINEにて95年NHKの音楽コンテストにて優勝、96年も出場-解散。97年結成CAMDEN LOCKがテレビ朝日系音楽オーディションに合格したのをきっかけに番組で取り上げられインディーズバンドながらも関西、近畿圏と人気を博し、関東、全国区へと活躍する。アルバム2枚、ライブCD1枚をリリース。99年解散。以後、バンドボーカル、シンガーソングライター（ジュニチ）として活動。インディーズレーベル事務所を立ち上げ、若手バンドの育成なども行う。昨年（2018）よりOSMのバンドアンサンブル（VO）講師として就任。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	課題曲 1 アナライズ及びアンサンブル		
2	演習	課題曲 2 アナライズ及びアンサンブル		
3	演習	課題曲 1、2 アンサンブル		
4	演習	課題曲 3 アナライズ及びアンサンブル		
5	演習	課題曲 4 アナライズ及びアンサンブル		
6	演習	課題曲 3、4 アンサンブル		
7	演習	課題曲 5 アナライズ及びアンサンブル		
8	演習	課題曲 6 アナライズ及びアンサンブル		
9	演習	課題曲 5、6 アンサンブル		
10	演習	課題曲 7 アナライズ及びアンサンブル		
11	演習	課題曲 8 アナライズ及びアンサンブル		
12	演習	課題曲 7、8 アンサンブル		
13	演習	イベントに向けた総復習により全ての課題曲のバンドアンサンブルと歌唱・表現力を習得する。		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	毎週アップされる課題曲をしっかりと視聴。英語のメロディーやジャンルのリズムや音作りを頭と体に入れる。英語詩をカタカナに直すなど自分なりに攻略。日本訳による歌詞の意味や当時のアーティストの活躍、歴史などを事前に調べておくのも良いでしょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	授業内評価 100%		
教材	教科書			
	参考書	随時配布（歌詞、音資料、譜面など）		

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		コンポジションプロジェクト		
科目名	楽曲提供1	担当教員名	西田 和史	
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605・606・501
授業の到達目標				
自分自身のスタイルを確立するとともに、様々な企画に対応できるよう表現の幅を広げる。世の中での自分の曲のポジション（クオリティー、ポピュラリティー、ジャンル、イメージなど）を知る。				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する企業課題（CM音楽、映画音楽、アイドル、バンド、イベント音楽など）に取り組み、仕事における楽曲制作のノウハウを学ぶ。また自身の活動方針にあったプロモーションツールを作成する。 <span style="float: right;">【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンピエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。</span>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	企業課題への取り組み方と情報管理		
2	演習	これまでの学習知識の実作業への応用		
3	演習	新知識の獲得法		
4	演習	自身での勉強法の獲得		
5	演習	企画・プロデュースカアップ		
6	演習	プロモーションカアップ		
7	演習	コンセプトに沿った楽曲制作力		
8	演習	制作指導と問題解決への課題		
9	演習	制作指導と問題解決への課題		
10	演習	制作指導と問題解決への課題		
11	演習	制作指導と問題解決への課題		
12	演習	制作指導と問題解決への課題		
13	演習	自身の今後の課題と制作・学習プランの確認		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習		全ての課題に締め切りが設定されますので、事業時間外での制作が必須となります。		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	3.課題 100%	
教材	教科書			
	参考書			

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ステージ/イベントプロジェクト	
科目名	ステージワーク1	担当教員名	小西 弘幸
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	1年次 後期
授業の到達目標	<p>実際の現場に於いても基礎的な要望に対応できる技術と知識を得る。 仕事に対する理解を深める。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するオペレーターとしてのスキルを高める。自らデザインして完成を高める。仕事の流れを把握する。</p>		
【実務経験】 株式会社マミー代表。MUSIC CIRCUS、コヤブソニックなどを手掛ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	授業の流れ、目的を理解する。	
2	演習	仕込み実習。仕込み図の理解。フォーカス等。	
3	演習	仕込み実習。適切な器具及びケーブルの選択、配線。	
4	演習	コンソールのベーシクトレーニング。	
5	演習	他のセクションとの作業を通じて現場的ルールや配慮、時間配分	
6	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
7	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
8	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
9	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
10	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
11	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
12	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
13	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
14	演習	プラン演出について	
15	演習	プラン演出について	
準備学習 時間外学習	振り返りをしましょう。授業で使う機材の特性を調べて参加		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%。	
教材	教科書		
	参考書	必要時に配布。	

スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		エンジニアリングプロジェクト	
科目名	セルフプロデュース1	担当教員名	木下 智哉
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標		606	
<p>セルフブランディング能力の向上。企画、プロジェクトの立ち上げから制作までをチームで行う。プロジェクト制作を進める中で、企画の重要性、目標の設定の仕方、スケジュール管理、必要な人材の確保、トライ＆エラーにおける修正術、結果の検証と改善点の発見等、セルフプロデュースにおけるすべを学ぶ。</p>			
授業の内容		<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する自己実現と自己啓発をクリエイティブな観点から学ぶ。自分たちで企画、制作、実践を行う。サイトを制作しコンテンツを発信するまでを行う。</p> <p>【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける</p>	
日程	授業形態	内容	
1	演習	授業概要／成功曲線の描き方／10年スケジュール制作	
2	演習	コンペ概論／企画制作実践1	
3	演習	クリエイターについて／適正診断／企画制作実践2	
4	演習	食える1%になる方法／コンペゼミ(発注書の読み解き)／企画制作実践3	
5	演習	セルフブランディング概論／セルフブランディングチェック／企画制作実践4	
6	演習	セルフブランディングの基礎／サイト制作基礎知識、ドメイン、サーバについて／サイト制作ツール	
7	演習	サイト制作実践1	
8	演習	サイト制作実践2	
9	演習	サイト制作実践3	
10	演習	サイト制作実践4	
11	演習	サイト制作実践5	
12	演習	プロジェクトの企画&立案／企画書の立て方	
13	演習	プロジェクトの企画&立案／プレゼン形式で行う	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習		企画制作のための資料探し、データの整理、人材のブッキング	
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書	なし	

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目		ミュージックビジネスプロジェクト		
科目名	TACプロジェクト1	担当教員名	堤福男	
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	<p>産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルボさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義。 【2コマ目】後期の目標であるイベント企画（7月29日）の課題に取り組みます。</p> <p>【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	TACプロジェクトの産学連携の授業内容に関して		
2	演習	スケジュール管理や報告のまとめ方についての説明、レクチャー		
3	演習	イベントの企画（7月29日）立案のレクチャー		
4	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションをレクチャー		
5	演習	イベントプロモーションやSNSの活用方法を学ぶためのレクチャー		
6	演習	フライヤーの制作、デザインのためのレクチャー		
7	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
8	演習	イベントに必要な資料（タイムテーブル、セット図など）の作成をレクチャー		
9	演習	樋口宗孝がん研究基金代表（柳澤様）特別講義		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	7月29日のイベントの準備を実施		
12	演習	後期のイベントの企画（10月25日）立案のレクチャー		
13	演習	9月6日のテレビ収録現場の準備やレクチャー		
14	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションを実施		
15	演習	イベント（10月25日）のプロモーションの実施		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1.実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		

## スーパーeエンターテイメント科シラバス

授業科目			メディアビジネスプロジェクト	
科目名	番組制作		担当教員名	藤田祐司
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	メディアセンター・ワン・スタジオ
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画書作成の基礎知識と作成能力の育成。プレゼンテーションテクニックの習得</li> <li>・Web配信番組制作を通して、TV番組の組み立て方と基礎知識を習得</li> <li>・カメラワーク、編集テクニックなど機材の基本操作術と、編集ソフト等の基礎的な使用方法の習得</li> <li>・チームでの制作実習を通して、各役割の仕事内容とチームプレイの重要性を習得</li> </ul>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ニッポン放送からスカパー局長を経て、番組・音楽制作の現場30年以上の実践の中で体感してきたこの業界は、近年、大きな変革期を向かえています。特に今後増々需要が高まるWeb配信はこの業界の大きなアイテムです。この授業では実際に番組制作現場で使われている映像中継システムを使い、学生たちの企画する番組を全世界に向けて配信します。発想をどのように企画し具現化していくか、そしてそれらを技術力でどう表現するか…。多くの人々に感動を届けるTVマンの世界を理論と感性で実践し、チームでのコミュニケーション能力を身に付けながら、これからの番組制作現場で必要とされる人材の育成を目指します。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	1年間の授業内容と目標 / 自己紹介 / TV番組制作の世界 (各役割紹介)		
2	演習	発想を具現化し、実現するためのツール【企画書の作成基礎】		
3	演習	実際の生放送の番組制作現場を見学【役割とチームプレイ】		
4	演習	機材に触れよう1 (放送カメラを使って撮影の基礎を学ぶ)		
5	演習	機材に触れよう2 (編集機材を使って編集の基礎を学ぶ)		
6	演習	ショートムービーの制作に挑戦! (チーム分けと「企画書」の作成)		
7	演習	ショートムービーの制作に挑戦! (企画書に基づいた「撮影」)		
8	演習	ショートムービーの制作に挑戦! (「編集」によって作品の骨格を完成)		
9	演習	ショートムービーの制作に挑戦! (作品チェックと修正編集で作品完成)		
10	演習	ショートムービーの制作に挑戦! (完成作品の「試写」により、問題点の整理と心構えの育成)		
11	演習	番組制作の役割と適合性を知る (ディレクター、カメラマン、編集マンの役割)		
12	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写		
13	演習	前期まとめ (後期のWeb配信番組制作に向けて) レポート課題		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習	日常の中で「サプライズ」と「感動」の仕掛けを想像し、番組制作において最重要である「演出」のテクニックを考察すること。			
時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 実技・チームワークの態度 50% 2) 制作課題 50%		
教材	教科書	実際にTV番組で使用した企画書・台本		
	参考書	実際に放送されたTV番組		